

第 5 回理事会報告

日 時 令和 7 年 5 月 20 日 (火) 午後 3 時～同 3 時 45 分

オンライン (Teams) 開催

出席者 <会 長> 住友雅人

<副 会 長> 小林隆太郎、川口陽子

<総務理事> 天野敦雄

<常任理事> 末瀬一彦、宇尾基弘、小峰 太

WEB 会議により出席した常任理事・理事・オブザーバーの氏名

<常任理事> 松尾 健、宇田川信之、林 美加子、桐田忠昭、
新谷誠康、沼部幸博、平野浩彦、秋山仁志、
細川隆司

<理 事> 窪木拓男、新井一仁、三宅達郎、二瓶智太郎、
村上秀明、尾崎哲則、松野智宣、野本たかと
栗田 浩、長塚 仁、坪田有史、柴 秀樹、
横瀬敏志、安井利一

<オブザーバー>

日本学術会議 歯学委員会委員長 村上伸也

国際歯科研究学会日本部会 会長 林 美加子

日本歯科総合研究機構 主任研究員 恒石美登里

日本歯科医学会連合 副理事長 宮崎 隆

欠席者 <理 事> 佐藤真奈美、宮脇卓也、渋谷 鑛、坂下英明

※WEB 会議による常任理事・理事・オブザーバーの出席は、診療所もしくは勤務地等から WEB 会議システムを通じて参加することによって行われた。

開会に先立ち、天野総務理事より、理事総数 34 名のうち 25 名の出席を得ており、日本歯科医学会規程第 17 条の規定により本理事会の成立が報告された。

(※最終的な出席者は 30 名)

また、オブザーバーにて出席の村上先生は所用につき途中退席のため、日本学術会議の報告は会議冒頭にて報告がなされた。

[議長 天野総務理事]

1. 開 会

小林副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

天野総務理事から、以下の項目について報告。

一般会務報告（令和7年1月21日～令和7年5月16日）

第4回理事会報告（令和7年1月21日（火）開催）

第5回常任理事会報告（令和7年4月22日（火）開催）

2) 各種委員会開催状況について

天野総務理事から、令和7年5月16日現在の各種委員会の開催状況等について、資料に基づき報告。

3) 専門・認定分科会への情報提供

天野総務理事から、前回の理事会（令和7年1月21日）以降、情報提供項目3件について、資料に基づき報告。

4) 役員派遣について

天野総務理事から、52件の役員派遣について、資料に基づき報告。

5) 令和6年度学会会計現況報告について

松尾常任理事から、標記会計現況について資料に基づき報告。

6) 令和6年度第25回日本歯科医学会学術大会会計現況報告について

松尾常任理事から、標記会計現況について資料に基づき報告。

7) 第25回日本歯科医学会学術大会報告

川口副会長から、標記大会の各サーキュラー（1st、歯科衛生士向け、歯科技工士向け）および5月13日現在の事前参加登録者数について、資料に基づき報告。

8) 日本歯科医学会分科会の資格更新について

川口副会長から、令和7年度は認定分科会である日本口腔検査学会に、資格更新審査を実施する旨資料に基づき報告。

9) 研究倫理審査申請書の審査結果について

川口副会長から、標記について資料に基づき報告。

【変更申請】

研究課題名：8020の実態把握に関するパイロット調査

実施責任者：公益財団法人8020推進財団 副理事長 小林慶太

審査結果と通知日：2025年4月7日承認

10) 新歯科医療提供推進委員会からの答申について

小林副会長から、標記委員会より3月31日付にて提出された、1.5次医療の地域支援型多機能歯科診療所（医療機関）と想定される医療機関の実態調査結果をまとめた答申書『地域支援型多機能歯科の多様性と可能性』について、資料に基づき報告。本答申書は後日、本学会ホームページで公表する旨確認。

11) 大阪・関西万博について

天野総務理事から、標記万博の進捗状況について資料に基づき報告。また、万博にて使用する動画「未来へ繋がる歯科イノベーション」、「ミライのシカイ」（英語テロップ入りバージョン）を視聴にて確認。

さらに、本学会ホームページに万博への参加方法について掲載およびクインテッセンス出版のWeb掲載記事にて紹介された旨、モニター投影にて確認。

12) 関連団体からの報告

日本学術会議報告

村上歯学委員会委員長から、口頭にて現況報告。

国際歯科研究学会日本部会報告

林会長から、口頭にて現況報告。

日本歯科総合研究機構報告

恒石主任研究員から、口頭にて現況報告。

日本歯科医学会連合報告

宮崎副理事長から、口頭にて現況報告。

4. 議 題

1) 第26回日本歯科医学会学術大会の開催について

天野総務理事から、標記学術大会の開催年について、奇数年（西暦）開催の場合、日歯執行部交代後の直後の開催になるため、開催年を奇数年から偶数年に変更する旨、資料に基づき諮られ、第26回大会は、第25回大会から5年後の2030年開催にて進めていくことで、全会これを承認。

また、第26回大会の開催候補日について日本コンベンションサービスに確認したところ、2030年11月8日（金）～10日（日）が挙げられ、仮押さえしている（会場はパシフィコ横浜）。

特段意見は無かったため、11月8日（金）～10日（日）を軸に次期執行役員にて開催期間等、検討していく旨確認。

2) 日本歯科医学会役員（学会会長）選任に関する件について

天野総務理事から、標記について、4月16日に立候補の届出を締め切ったところ、小林隆太郎氏1名の届出書を受理した。同日開催の選挙管理会で資格審査を行い、候補者として適格であること確認した。ついては、本件を第115回臨時評議員会の第1号議案とし、上程する旨諮られ、全会これを承認。

3) 第115回臨時評議員会の開催（議案）について

天野総務理事から、標記について、日本歯科医学会会長の候補者が1名で定員を超えないため、日本歯科医学会選挙取扱い内規第15条により投票行為がないことが想定されるため、第4回理事会で確認した通り、会議形式をオンラインとすることについて諮られ、全会これを承認。

4) 歯科イノベーション推進協議会の設置について

天野総務理事から、標記について資料に基づき説明がなされた。審議の結果、歯科イノベーションの推進に関する検討を行うことで、臨時委員会である「重点研究委員会」を、「歯科イノベーション推進協議会」に名称変更のうえ、常置委員会として設置することについて諮られ、全会これを承認。

5) 国際歯科研究学会（IADR）活動に関する調査研究依頼について

天野総務理事から、国際歯科研究学会日本部会（JADR）に対し、標記調査研究依頼を本年度も例年のおり行うこと、委託費として64万円を交付することについて諮られ、全会これを承認。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。